



三川小学校のスローガン **よく学び、よく遊べ！そして助け合う三川っ子！**

新紙幣の発行に寄せて…

約20年ぶりの新紙幣発行が、7月3日に始まりました。新紙幣のデザイン刷新は2004年以来で、一万円札の肖像は、福沢諭吉から渋沢栄一に、五千円札は樋口一葉から津田梅子に、千円札は野口英世から北里柴三郎に交代になりました。

ところで、新一万円札の肖像である渋沢栄一が、旭市と縁があるのをご存じですか？

日本の近代経済社会の礎を築いた渋沢栄一は、大正7年と昭和3年の二度も、旭市を訪れました。大正7年(1918年)、渋沢栄一は旭町(現在の旭市)商業組合が行った講演会に招かれました。旭町尋常高等小学校(現在の旭市立中央小学校)で講演を行い、記念に楠を植えました。その楠は現在は県立東部図書館の西側に移植されています。



それを踏まえて、7月2日(火)に、「渋沢栄一給食」が提供されました。



子どもたちは、給食センターが作成した渋沢栄一の動画を事前に視聴してからの喫食でしたので、どのメニューがどのように渋沢とつながっているのか、意識しながら食べている様子でした。渋沢が好きだったさつまいもを



入れた「おさつごはん(おれご飯)」を、おかわりする子どももいました。大きめのスイカと特別パッケージの味付け海苔も興味津々だったようです。

旭市と交流のあった偉人について、食を通じて学びを深める良い機会となりました。

そんな渋沢栄一が座右の銘としていた有名な言葉が「吾日に吾身を三省す(われひにわがみをさんせいす)」だと言われています。この言葉を簡単にした話を、夏季休業前の全校集会で、子どもたちに話しました。「1、人のために心を込めて役に立とうとしましたか。2、友達と心から仲良くできましたか。3、しっかり復習して、先生から教えてもらったことを身に付けることができましたか。」の3つです。

4月からの4か月間を振り返り、夏休みの目標を立て、有意義に過ごせるよう、ご協力をお願いします。

校長

三川小甲子園プロジェクト

本校の特徴ある独自の取組として、「三川小甲子園プロジェクト」があります。

学力向上の取組の一環として、児童の学習意欲と総合的な学力の向上を目指しています。

- 1 対象: 4年生以上の児童
- 2 実施内容: 漢字、地図、計算甲子園
- 3 出題内容:
(漢字) 4～6年で習う漢字100題
(地図) 地理的名称50題
(計算) 計算問題100題
- 4 取組方法: 事前に出題内容と同じものを配付し、練習期間を設ける。
- 5 結果: 満点の児童は、漢字・地図・計算名人として昇段し、表彰を行う。

今回は、第1回漢字甲子園を、6月18日に実施しました。練習を自学等で繰り返し行い、4名の児童が見事満点を取り、昇段しました。

<六段>(6年)	さん
<四段>(6年)	さん
<三段>(5年)	さん
<初段>(4年)	さん

次回は、9月19日(木)に地図甲子園を実施します。積極的な取組を待っています。

6・7月の読書賞

本校では、読書を奨励するために、「読書賞」の取組を行っています。

6・7月の読書賞は、1年生1名、2年生5名。

さんは4回目、さんは3回目の受賞です。さん、さん、さん、さんは1回目です。

お気に入りの本は、さんは「あらいぐまのせんたくもの」(大久保雨咲作)と「もりのレストラン」(舟崎靖子作)と「おべんとうなあに?」(山脇恭作)、さんは「とうさんのあしのうえで」(いもとようこ作)と「ぼうしころころ」(山脇恭作)、さんは、「ほねほねザウルス」(ぐるーぷ・アンモナイト 編著)、さんは「くるくるこうさく」(尾田芳子作)、さんは「がっこうのおばけずかん」(斉藤洋作)、さんは「さるのあかちゃん」(さえぐさひろこ作)だそうです。



今年度は、家庭読書の分も、読書カードに記入できるよう変更しました。夏休み期間は、時間もたっぷりありますので、本の世界にどっぷりと浸って、豊かな家読(うちどく)時間を満喫するのも良いと思います。

夏休み明け、読書賞の児童が増えることを期待しています。

歯みがき、しっかり

旭市歯の衛生週間 図画・ポスターコンクールで、入選しました。

(3年) さん
(3年) さん

夏休み中の、毎食後の歯みがきについて、お子さんへの声かけをよろしくお願いいたします。



千潟八万石

樺海の干拓事業は、延宝元年(1673)に惣堀工事が完了してから、昨年(2023)で350年の節目を迎えました。通称「千潟八万石」と呼ばれているこの約5,100haにも及ぶ広大な耕地は、近世初期の大規模新田開発として知られ、現在は、豊かな農業生産地として人々の生活を支えています。

江戸時代に始まった土木事業も、さまざまな紆余曲折の中、困難をくぐり抜け、進んでいきました。

この夏休みに、地元旭市での偉人の苦労と、先人の生き抜く力を実感し、ふるさと旭の歴史を知る旅に出かけてみませんか。

